

プロジェクトマネジメント学会四国支部総会・年次研究大会開催報告

中内伸二
株式会社 STNet

Report of the Symposium 2020 Shikoku Branch of the Society of Project Management

Shinji Nakauchi
STNet, Incorporated

1. 四国支部総会・年次研究大会の報告

プロジェクトマネジメント学会四国支部では、2020年2月19日（水）、株式会社 DynaxT において四国支部総会を開催し、中内伸二氏（株式会社 STNet 専務取締役 情報システム本部長）が新支部長に選出されました。その他 2019 年度事業報告・決算報告および、2020 年度事業計画・予算案を審議し、承認されました。



四国支部総会の様子

四国支部総会に引き続き、年次研究大会を開催いたしました。

四国支部年次研究大会

日時：2020年2月19日（水）

場所：株式会社 DynaxT

共催：香川大学創造工学部、香川大学産学連携・知的財産センター技術交流協力会

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

年次研究大会には、香川大学創造工学部教授の佛圓 哲朗氏をお招きし、基調講演をいただきました。

佛圓氏による基調講演のほか、会員から3件の研究発表がありました。

年次研究大会終了後は懇親会が開かれ、ここで

も活発な意見交換をすることができました。

基調講演：

「2050年のモビリティ社会に必要なもの」
佛圓 哲朗氏（香川大学創造工学部 教授）

佛圓氏は、振動騒音解析、車両制御、衝突防止、電動化技術や次世代商品の企画に従事され、現在は、香川大学創造工学部、造形・メディアデザインコースで創造的なモビリティ社会の実現をめざして研究をされております。基調講演では、「2050年のモビリティ社会」と題し、30年後（2050年）のモビリティ社会におけるCASE(Connect/Autonomous/Shared & Services/Electric)技術、特に自動運転技術と電動化を取り上げ、クルマの開発の歴史と連動した開発の裏話の紹介と、自動運転技術を人間中心デザインの視点から再構成することによって、30年後の社会の変革に一石を投じる可能性についてお話いただきました。



佛圓氏による基調講演

発表1：

「MathPub2.0 開発プロジェクト PM（大規模リモート分散開発）」

大和田 博道氏（株式会社 DynaxT）

MathPub2.0 開発プロジェクト PM（大規模リモート分散開発）について、発表していただきました。



大和田氏による発表

発表 2：

「プロジェクトマネジメントにおける適正な損益計上について」
岡 佳野氏（株式会社 STNet）

工事進行基準の概要と不正会計事例について発表していただきました。



岡氏による発表

発表 3：

「プロジェクトの障害事例における発生原因と対策について」
岩尾 直樹氏（中央コンピューター株式会社）

一般的なスクラッチ開発のシステム保守案件の障害事例をもとに、その発生原因と再発防止策を検討することで、プロジェクトマネジメントを行ううえでの注意点、考慮点などの気づきについて

発表していただきました。



岩尾氏による発表

2. 今年度の活動予定

本年度も、香川大学創造工学部、香川大学産学連携・知的財産センター、ITC 団体（ITC 四国、ITC かがわ）や香川県情報サービス産業協議会などの団体や他学会との交流を一層深め、幅広い方に研究会への参加を呼び掛け、新規会員の開拓に努めたいと考えています。

また、PM の基礎的な手法の研修に加えて、四国地域の活性化につながる実践的な取り組みを紹介することで、活動を一層活性化していきたいと考えています。

活動日程（予定）

2月19日：総会および年次研究大会
（株式会社 DynaxT）

6月、10月：四国支部研究会

その他：本部主催の春季、秋季研究発表大会への参加

3. お礼

最後になりましたが、年次研究大会の運営に関し、本部の方々には、多大なご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【四国支部問合せ先】

香川大学 創造工学部

荒川研究室内 PM 学会四国支部事務局

〒760-8521 香川県高松市幸町 1-1

Email:shikoku_ml@spm-hq.jp

HP:https://www.spm-hq.jp/committee/shikoku/